

能登七福神霊場巡り

能登七福神霊場巡りでは各寺院にて御朱印色紙(400円)を用意してお待ちしております。

※これは参拝順路の一例です。能登七福神霊場巡りの参拝順路はきまっていません。時間は、車で移動する際の目安です。



招福開運

龍護寺 (Ryūgo-ji) area map showing nearby landmarks like 酒見川, 富来小学校, and 柳泉寺.

大覚寺 (Daikoku-ji) area map showing 笠師保駅 and 西岸寺.

豊財院 (Hōzai-in) area map showing 飯山 and 白瀬町バス停.

東嶺寺 (Higashine-ji) area map showing 田鶴浜 and 市姫神社.

長齢寺 (Kaichū-ji) area map showing 小丸山 and 七尾山公園.

海門寺 (Haimon-ji) area map showing 七尾市公設地方卸売市場 and 大田.

青林寺 (Seirin-ji) area map showing 和みの丘公園 and 信行寺.

Main map showing the pilgrimage route in pink, connecting the seven temples. Major roads like 249, 159, and 160 are marked. Landmarks like 能登空港 and ツインブリッジのとは are also shown.

能登七福神 霊場巡り



【拝観・問合せ時間】午前9時から午後4時半まで

布袋尊 青林寺〔家庭円満の御寺〕

石川県七尾市和倉町レ部61 ☎0767-62-2836

青林寺

當寺のご開山さまは、羽咋の永光寺住職510世孤峰白巖禪師が、永光寺別院として堂宇を建立。境内には戦死病没者を弔うために新西国33ヶ所観世音菩薩尊像を奉安されました。その後寺号は青林寺と改称す。平成17年には境内の観音さま参道整備し、新たに和みの丘公園として開園しております。又、明治42年9月に大正天皇が東宮殿下に在らせられた折、北陸行啓、その際に建築された御便殿（御座所）を昭和51年當寺境内に移築、平成29年には、国の有形文化財として登録され保存されております。

布袋尊

七福神中唯一の实在の人物。中国唐時代の禅僧、契此（かいし）といい、布袋和尚は物事にこだわらない鷹揚な人柄で、また未来を予知する力があったという。愛敬富財、鷹揚和合、度量無限の福德を備え、弥勒菩薩の化身といわれる。



福祿寿 龍護寺〔福寿無量の御寺〕

石川県羽咋郡志賀町酒見門前67 ☎0767-42-0401

龍護寺

龍護寺は、總持寺五院・如意庵の実峰良秀禪師を開基に創建されました。応永元年（1394年）禪師がこの土地に長年災いを与えていた竜に仏戒を授けて災いが止み、この竜が棲んでいた池を埋め立てて堂宇を構えたのが始まりとされております。首山からは、龍護水と呼ばれる豊富な湧き水が竜のお告げのとおり、現在も涸れることなくこんこんと湧き出しています。当山は能登三十三観音霊場の二十五番礼所でもあり、礼所観音で秘仏の竜王竜神観世音菩薩や、石川県指定文化財の薬師如来座像が奉られていて、竜宮と通ずる霊場として現在に至っています。

福祿寿

寿老尊と共に中国仙界の神尊で、人生の三大目的とする福（幸福）・禄（身分）・寿（寿命）の全てを兼ね備えているとされる。また福・禄・寿を備えた神は人徳も備わっていることから、人徳の神としても親しまれている。



毘沙門天 大覚寺〔開運勝利の御寺〕

石川県七尾市中島町笠師口34 ☎0767-66-1105

大覚寺

大覚寺は慶長7年の創立で4百年余年の歴史が有る。本尊、釈迦如来座像は京都高台寺より伝わり、太閤殿下供養の為と銘有り、妙見堂には雨乞い祈祷で知られる妙見大菩薩、瑠璃光庵には泰澄大師作と伝わる薬師如来等が安置されている。又、当山には北国八十八ヶ所霊場がある。二十二世霊献大和尚信者ととも四国霊場を巡拝し、四国の景観形態をうつし、特に、四国各霊場本尊真下の土を持ち帰り、参拝者はその土を踏むことが出来、四国霊場巡拝の功德に近づくことが出来る。全行程約4km 石佛百五体。

毘沙門天

またの名を多聞天といい、インド出身の軍神・四天王の一人で北方を守護する。威徳無量にして、勇気を受ける武運の神として尊崇を集め、開運勝利と共に財宝富貴自在の福を授けることで七福神の一神となる。



恵比寿天 東嶺寺〔開運守護の御寺〕

石川県七尾市田鶴浜町二部253甲 ☎0767-68-3501

東嶺寺

東嶺寺は天正八年（1580年）から91年間、鹿島半郡を治めた長家（のち加賀藩重臣、加賀八家の1）の菩提寺である。元七尾城下にあり実相院と号していたが、長氏が鹿島半郡五十九ヶ村を所有後田鶴浜に移り花溪寺と改称した。天和五年（1619年）長家中興長連龍が死去、その子連頼が慶安三年（1650年）花溪寺を大改修し、長連龍の法号にちなみ東嶺寺とする。現在、本堂、山門、長家墓所など七尾市指定有形文化財となっている。

恵比寿天

えびすさまの釣竿を持ち鯛を抱える姿は、「利をむさぼらぬ清廉の心を象徴」している意味があります。先を見越して「日々こつこつ」がおかげさんと言える道のりです。加えて、開運守護を願う姿です。幸せを招くえびす顔。



大黒天 長齡寺〔福德円満の御寺〕

石川県七尾市小島町リ部52 ☎0767-53-7993

長齡寺

天正9年（1581年）織田信長の命により、前田利家公能州23万石に封ぜられ赴任し、御両親菩提供養の為に一寺を建立したのが長齡寺です。境内には前田利家公御両親の墳墓、利家公、2代利長公の供養塔（市文）、兄安勝公親子の墳墓、また宝物殿には前田一族の肖像画や、関連の歴史を物語る多くの品々を常時展示しております。拝観料金400円

大黒天

インドの出身の神で三宝を守護し、飲食を豊穰にして福德を与える神として崇信された。日本に来て、大国主命と習合し穀物、台所の神様として奉られ、各家庭に福德円満をもたらす福の神として、五穀豊穰の神として信仰を集めている。大黒様の「打ち出の小槌」は振れば、何でも好きなものが出て、願を叶えるとも云われてます。また怠け心よ、よこしまな心、弱い心を打ち振って、人の迷いを晴らします。



弁財天 海門寺〔良縁成就の御寺〕

石川県七尾市大田町5部74 ☎0767-52-3888

海門寺

海門寺の創建は不明だが、境内から中世の板碑、宝篋印塔などが多数出土している。戦国時代には、七尾城五代城主昌山慶致公次男が住職をつとめ、寺領三千石を有した。上杉謙信能登侵攻の折、当寺も灰燼に帰したが、観音堂のみ消失を免れた。前田利家公により再興され、前田家の祈願寺として現在に至る。消失を免れた観音像は、平安後期の貴重な在銘尊像（保元三年）として重要文化財に指定されている。能登観音霊場五番礼所でもあり、常時御朱印などを求める参拝客を受けいれている。

弁財天

七福神中唯一の女神。音楽をはじめとした芸術や学問全般の神様として信仰を集めてきた。弁舌才知、福德財宝、縁結びをつかさどるともいわれている。



寿老尊 豊財院〔不老長寿の御寺〕

石川県羽咋市白瀬町ル8 ☎0767-26-1065

豊財院

正和元年（1312年）、加賀大乘寺二世であった瑩山紹瑾禪師が、当地で草庵を結び、能登初の禅風をもたらしたのが豊財院の始まり。その後、瑩山禪師は当庵より白狐に導かれ酒井の永光寺を開創したとの伝説も残る。宝物には、平安時代中期の作と伝えられる国指定重要文化財の三観音や、自らの手指を刺し、その血をもって書写した血書大般若経六百巻など、宝物館に展示してあります。拝観料金400円（予約が必要です）

寿老尊

福祿寿と共に中国の出身で、元は南極老人星という寿福を司る同じ星の神様だったと伝えられる。両手で扇を持っており、病魔を払い、健康長寿を招き入れるといわれる。